

「埋蔵文化財」略して「まいぶん」！

その名のとおり、土に埋もれた文化財です。「遺跡」といった方が、なじみがあるかもしれません。私たちは、何百年何千年も前に活動した人びとの痕跡を、文化財保護法に基づき調査、記録し、未来につなげる大切なしごとにあずさわっています。しかし、こうした遺跡は、みなさんの生活のすぐ近くにあるのですが、私たちの活動とともにその内容をあまり知られていません。今回、同様のしごとを行っている東海・北陸の8団体が、共同で「まいぶん」を知っていただく様々な企画を開催します。みなさんの身近にある「まいぶん」。この機会に、一度参加してみたいかがでしょうか。

① 富山県
埋蔵文化財センター

特別展「と・YAMATAI 国」開催中です！



富山県

と・YAMATAI 国

令和6年度特別展

弥生時代の富山へタイムスリップ

入館無料

と・YAMATAI 国

今からおよそ1800年前、日本に何国という連合国がありました。何国を治めた女王卑弥呼は、邪馬台国という都を都らしていました。その邪馬台国は一体どこにあったのか。九州が近畿が、それと全く違う別の場所が…。現在もなお解明されず、所在地論争が繰り返されています。その頃、富山には一体どのような国があったのか。“と・YAMATAI 国”の様子を見に行きましょう。

展示構成

第I章 弥生時代のイメージ
弥生時代について、どのようなイメージを持っていますか。教科書には、大陸から伝わってきた稲作を行い、銅鐸や銅矛などの青銅器で祭祀を行う人々の姿が書かれています。そして女王卑弥呼が治めた邪馬台国があったのも、弥生時代の終わり頃です。弥生時代について、もう一度おさらいしましょう。

第II章 弥生時代の富山“と・YAMATAI 国”
発掘調査によって明らかとなった富山の遺跡(と・YAMATAI 国の村)を紹介します。縄文人の村、米作りの村、玉造りの村、農耕の村、祭りの村…。それぞれに特徴的な富山の村の姿を、第I章で見てきた弥生時代のイメージと比較し、弥生時代のギャップに迫ります。

記念講演

<p>弥生時代から古墳時代への変革と青銅器の生産・流通</p> <p>講師：岩本 崇氏 (鳥取大学法文学部考古学研究室准教授)</p> <p>日時：令和6年10月27日(日) 13:30~</p> <p>場所：当センター会議室</p>	<p>出土イネが語る 日本と北陸の歴史</p> <p>講師：上條 信彦氏 (弘前大学人文社会科学部文化財論教授)</p> <p>日時：令和6年11月10日(日) 13:30~</p> <p>場所：当センター会議室</p>	<p>トヤマ弥生の イエ、ムラ、クニ</p> <p>講師：岡本 淳一郎 (富山県埋蔵文化財センター調査課長)</p> <p>日時：令和6年12月15日(日) 13:30~</p> <p>場所：当センター会議室</p>
---	--	--

考古学の博物館

令和6年 10/4 (金) ▶ 令和7年 1/23 (木)

【開館時間】 9:00~17:00
【休館日】 金曜日・12/28(土)~1/5(日)



全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 東海・北陸ブロック加盟機関

<p>① 富山県埋蔵文化財センター</p> <p>ところ 富山県富山市 茶屋町 206-3 でんわ 076-434-2814</p> 	<p>② 福井県教育庁 埋蔵文化財調査センター</p> <p>ところ 福井県福井市 大畑町 97-21-3 でんわ 0776-53-7977</p> 	
<p>③ 愛知県埋蔵文化財調査センター</p> <p>ところ 愛知県弥富市 前ヶ須町野方 802-24 でんわ 0567-67-4164</p> 	<p>④ 三重県埋蔵文化財センター</p> <p>ところ 三重県多気郡 明和町竹川 503 でんわ 0596-52-1732</p> 	<p>⑤ 東浦町郷土資料館 東浦町埋蔵文化財センター</p> <p>ところ 愛知県知多郡 東浦町大字石浜 字桜見台 18-4 でんわ 0562-82-1188</p> 
<p>⑥ 安城市埋蔵文化財センター</p> <p>ところ 愛知県安城市 安城町城堀 30 でんわ 0566-77-4477</p> 	<p>⑦ 津市埋蔵文化財センター</p> <p>ところ 三重県津市 安東町 1225 でんわ 059-229-0210</p> 	<p>⑧ 松阪市文化財センター (はにわ館)</p> <p>ところ 三重県松阪市 外五曲町 1 でんわ 0598-26-7330</p> 

各団体の詳細はHPをご覧ください